

川越市

令和2年度6月補正予算のポイント

【新型コロナウイルス感染症対策関連】

令和2年6月



川越市シンボルマーク

一般会計補正予算(第5号)

予算規模 **5億3,418万2千円** (補正後予算額 1,568億1,467万3千円)

新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親世帯や妊産婦に対する支援を行うとともに、今後を見据えた医療提供体制の整備等を推進します。

主な内容

歳出予算 の補正	• ひとり親世帯臨時特別給付金事業	309,881千円
	• 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	181,276千円
	• 新型コロナウイルス流行下における妊産婦対策事業	43,025千円

ひとり親世帯臨時特別給付金事業

309,881千円

ひとり親世帯の子育ての負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給します。

- 基本給付として、下表の ~ の区分の対象者に1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円を支給します。
- 追加給付として、下表の と の区分の対象者に新型コロナウイルス感染症の影響により収入が大きく減少したとの申し出があった場合には1世帯当たり5万円を支給します。

対象者区分	対象世帯数	基本給付	追加給付
児童扶養手当受給者 (令和2年6月時点)	2,051世帯	7月末までに給付(申請不要)	
公的年金等の支給があるため、 児童扶養手当を受給していない者	244世帯		
直近収入が基準以下となった者 (家計急変)	903世帯		

児童扶養手当受給者以外の対象世帯は、同手当の申請者やひとり親医療費単独受給者から見込みました。また、の一部は国勢調査から世帯数を推計するものの、対象者は不明であるため広報川越や市ホームページにおいて周知を図ります。

担当部署:こども未来部こども家庭課

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

181,276千円

新型コロナウイルス感染症への対応として、緊急に必要なとなる感染拡大防止や医療提供体制の整備を推進します。

【補助事業・委託業務として実施する取組】

- 相談窓口の設置(川越市医師会) かかりつけ病院・診療所の医師からの相談体制の構築
- 入院医療機関の設備整備(民間医療機関) 人工呼吸器や個人防護具などの整備
- 帰国者・接触者外来の設備整備(民間医療機関) 簡易診療室や個人防護具などの整備
- 感染症の検査を実施する機関の設備整備(民間検査機関) 検査装置の購入
- 休業等となった医療機関への継続・再開支援(民間医療機関) 空気清浄機の購入や消毒経費

担当部署:保健医療部保健医療推進課

新型コロナウイルス流行下における妊産婦対策事業

43,025千円

妊産婦が安心して出産し産前産後を過ごせるよう、分娩前の新型コロナウイルス検査とともに、妊産婦がウイルスに感染した際の寄り添い型支援を行います。

【事業内容】

- 分娩前ウイルス検査 不安解消のため希望する妊婦にPCR検査を行います。
- 感染した妊産婦への寄り添い型支援 退院後に助産師等が定期的な自宅訪問等を行います。

事業の実施に当たっては、埼玉県と連携して取り組む予定です。

担当部署:保健医療部健康づくり支援課